

## 会 議 議 事 録

1 会議名	令和5年度 第4回 長岡市障害者施策推進協議会
2 開催日時	令和6年2月22日（木曜日） 午前10時から午前11時20分まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	<p>(委員) 阿部委員           五十嵐委員           加藤委員                    菊池委員           近藤委員           田中(晋)委員                    田中(春)委員       棚橋委員           土田委員                    沼田委員           長谷川委員       藤田委員                    野口委員           目黒委員           八子委員                    山口委員           米山委員</p> <p>(事務局) 福祉保健部長                    福祉課長ほか関係職員                    福祉総務課長ほか関係職員                    子ども家庭センター所長                    保育課長補佐                    学校教育課長                    長岡市社会福祉協議会事務局長</p>
5 欠席者名	(委員) 岡村委員 柴野委員
6 議題	<p>(1) パブリックコメントの実施結果について          (2) 第7期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第3期障害              児福祉計画（最終案）について          (3) その他</p>
7 審議の内容	
発言者	議 事 内 容
福祉課長補佐	<p>○開会          ・欠席委員報告</p>

<p>福祉保健部長</p>	<p>○福祉保健部長あいさつ</p> <p>本日はお忙しい中お集まりをいただき、厚くお礼を申し上げます。月日は過ぎるのが早く、これまでの3回にわたる会議の中で、皆様から様々なご意見をいただいたが、本日ここに長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、障害児福祉計画の最終案がまとまった。これについては、後ほど、担当から説明をさせていただきます。</p> <p>今年度、福祉保健部では、本計画も含めて8つの計画を同時に策定するという年に当たっている。本日ここにおられる委員の皆様の中には、他の計画策定にもご協力をいただいたり、関係いただいている団体の方も多くいる。こういった計画策定の場以外でも、色々な場面をとらえて、ご意見を聞けたことは、非常に実りの多い年度だったと思っている。</p> <p>本日皆様からご意見をいただいた後、いよいよ来年度から新たな計画に基づいて事業を進めていくわけだが、計画というのは当たり前のことながら作って終わりではなく、むしろ来年度からが市としても頑張り時かと思っている。</p> <p>今後も皆様から色々なご意見をいただきながら、施策を進めて参りたいと思うため、ご協力をよろしくお願ひしたい。まずは、本日は、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>福祉課長補佐</p>	<p>○配布資料の確認等</p>
<p>委員長</p>	<p>○会議の傍聴・公開についての確認</p>
	<p>※傍聴者がいないことを確認。</p>
	<p>○議題</p>
	<p>議題(1)パブリックコメントの実施結果について、事務局から説明願う。</p>
<p>福祉課長</p>	<p>(資料No. 1をもとに説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ただ今の説明に対し、質問や意見等はあるか。特にないとのため、次に進みたいと思う。</p>
	<p>(2)第7期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第3期障</p>

<p>福祉課長</p>	<p>害児福祉計画（最終案）について、事務局から説明願う。</p>
	<p>（資料No. 2-1、2-2をもとに説明）</p>
<p>委員</p>	<p>質問ではなく意見になる。54ページ第5章雇用促進と就労支援で商工会議所にも関わる部分となるが、先ほどの説明にもあったとおり、法定雇用率は県の平均値を上回って達成している企業が多い。ただ一方で、正社員としての雇用の部分を見ると、中段の網掛け部分になるが、身体障害者はそこそこ正社員になっているが、知的障害者、精神障害者は低いという数字が出ている。商工会議所としても、経営者の皆さんと話す機会が多い中で、やはりニーズと言うと少し怒られるかもしれないが、実際こういう声があるのも事実なため、それでも働けるんだというメッセージがうまく企業へ伝わっていないのかなとも考えている。</p> <p>今後も法定雇用率は段階的な引き上げが予定されており、意識の高い企業からは、かなり問い合わせや相談もあるところである。直接ハローワークという手もあるが、その一手手前で相談ができるような場所、それが自立支援協議会なのかどうかかわからないが、市も一生懸命やられてるとは思うが、商工会議所の間に入って、ここが窓口だと企業がすぐわかるような、あるいは商工会議所を通さなくても直接そこに相談できるようなことが発信できると、色々な理解が深まると思う。</p> <p>計画そのものはこれでよいと思うが、発信の仕方の時に、この辺をご理解いただき一緒にやっていければと思っているため、よろしく願いしたい。</p>
<p>福祉課長</p>	<p>ご発言のとおり、自立支援協議会の部会の一つに就労部会がある。ただ今の意見をしっかりと部会にフィードバックしておきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>就労に関しては、就労前はジョブコーチをつけての体験があり、就労後は就労定着支援があるようだが、この辺がどれだけ充実するか、企業と本人との間をきちんと取りもって機能していくかが、一般就労を継続、定着する上で大事かと思う。</p> <p>企業の現場で上司の方は、障害があることをわかっていなが</p>

	<p>らも、説明したことに対してできないと責めてしまう。障害者雇用については、わかっているようで、上層部の方ですらわかっていない。一緒に働いている方たちへは、個人情報があるため伝えていないとしても、せめて上司や上層部は障害ということを理解して仕組みづくりをしないと、なかなか定着には繋がらない気がしている。</p> <p>また、多くの支援があるが私自身もまだ知らないことが多くあり、新しい支援を皆さんに周知する方法が難しいと思っている。色々な支援があることを、相談支援事業所に行かない人にも伝わるようにしてほしい。スマホで検索やホームページを見てでは、できない人も多くいる。思いつくのは市政だより程度だが、そこに障害についての記載があるとうれしく思う。</p> <p>色々な支援があることの周知や定着に向けた関わり方を重点的にやってもらえると、一般就労に繋がっていくのかなと思う。計画案について変えてほしいということではなく、意見として申し上げた。</p>
福祉課長	<p>情報を知らないがためにサービスを受けられないという状況は、我々が望むところではないため、今後もあらゆるチャンネルを通じて周知していきたいと思っている。</p> <p>また、就労定着支援についても、障害者の特性や受け入れ企業のニーズ、これらのマッチングが何よりキーポイントかと考えているため、そこを踏まえて、さらに取り組みを進めていきたい。</p>
委員	<p>先ほどから企業が障害の特性についてわからないという話題があり、自立支援協議会の部会の一つに就労部会があるなかで、企業向けの研修会をぜひ実施してほしいと思っている。</p> <p>教育分野はものすごく丁寧で、保護者に情報が徹底して届いているが、福祉は、受け身である。自分から情報を掴みに行かないとキャッチできない。福祉事業所からこのようなサービスがあるから来てくださいということもない。自分から足を運ばないといけないのが福祉だと言われているため、私たち受け取る側の目線もあると思うが、基幹相談支援センターなどの行政機関や相談支援事業所が、どのようなメッセージを出しているかが大事なところかなと思う。</p>

<p>福祉課長</p>	<p>やはり自立支援協議会は、その底辺のところを徹底して広めていただきたい。どこが課題なのか、なぜ繋がらないのかという課題を把握してほしい。先ほど商工会議所の方からありがたい言葉もあったため、それを起点として、自立支援協議会の就労部会で、どのような仕掛けをすると雇用主も働く側も両方よかったとなるかを是非検討していただきたいと思う。</p> <p>また、今年から新規の就労選択支援サービスの人数が計上されているが、どこが主に中心となってやる事業なのか、相談支援事業所になるのか教えてほしい。</p> <p>就労選択支援については、サービス開始が令和7年度となる。まだ国から詳細な通知が来ていないためこの場での回答は難しいが、この計画に効力を持たせるためには、委員がおっしゃるとおり、自立支援協議会が重要なため、今後も連携を密にして取り組んでいきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>他に質問や意見等はあるか。特にないため、それでは、本計画の最終案について承認いただける方は、拍手をお願いしたい。</p> <p>《拍手》</p> <p>本計画は皆様より承認いただいた。今後は、先ほどから話題のある自立支援協議会とともに、来年度以降、計画を実行して行ってほしいと思う。</p> <p>では（3）その他だが、事務局から何かあるか。</p>
<p>福祉総務課長 福祉総務課企画係長</p>	<p>《事務局挙手》</p> <p>（当日配布資料をもとに説明：第2期長岡市地域福祉計画の主な変更点と今後のスケジュールについて）</p>
<p>委員</p>	<p>A3資料で、基本方針をこれまでの4つから3つに変更し、その理由もわかったため賛成だが、3番目「福祉の心を育むまちづくり」について、内容を見ると教育や育成となっており、これは人づくりだなと感じた。そのため、そのまま人づくりに変更して「福祉の心を育む人づくり」でもいいと思うが、おかしきようであれば、「福祉の心を育む人・まちづくり」など、このイメージがわかるように変更されたらどうかなと感じた。</p>

福祉総務課企画係長	<p>現在、そのようなところを含め策定途中のため、参考にさせていただきます。</p>
委員	<p>17ページについて、社会福祉協議会と市に分けて記載があるが、社会福祉協議会の部分で少し合点がいかないところがある。「成年後見制度の普及啓発」事業については社協でやっているが、本来は社協の事業ではない。制度の普及というのは市が行うべきではないかと思う。成年後見センターの中で、その事業を行うということであれば、それは社協が受託しているためよいが、このように大きな見出しの中で、社協が普及啓発をやることではない。社協も成年後見の中の法人後見の一事業所でしかない。成年後見制度ということになれば、それは市ではないかと思うがいかがか。</p>
福祉総務課企画係長	<p>現在この内容について、記載の順番も含め、社会福祉協議会と調整をしているが、ただ今のご意見を踏まえて、「長岡市成年後見センターの運営」の中に包含するか等、改めて確認させていただきます。</p>
委員	<p>長岡市でも、外国の方が増えてきており、病気になった時に、どこを受診していいかわからないという相談がたまにある。そのような外国の方の支援に関しては、どのあたりに位置づけられているか教えてほしい。</p>
福祉総務課企画係長	<p>外国人材のことについては、この地域福祉計画の中で細かく明記しているところはないかと思う。外国人の就労者や就労していなくても既に住んでいる方々の支援という細かい部分については、どの計画になるのか、地域福祉計画の中に明記をするのかどうかは改めて確認したいと思う。</p>
委員	<p>やはり、同じ長岡市民に等しく福祉を提供するとなれば、このような計画にもある程度配慮すべきなのかなと思う。</p>
福祉総務課企画係長	<p>もう一つ付け加えると、現在新潟県の取り組みで、日本語教育の推進に関する基本的な方針案が、この令和6年2月にまと</p>

<p>委員</p>	<p>まった。そこで、外国人就労の方や外国人が困っていることということで、委員が言われたような生活課題等がしっかりと出ている。このようなところも参考にしていきたい。</p> <p>地域福祉計画ということで、地域、社会福祉協議会、市とそれぞれの役割の記載があると思うが、地域に住んでいる人間として、これが地域の役割として浸透しているのかなとすごく感じている。地域で避難が難しい人を把握するような旨の記載もあるが、実際にそれが機能するのかなどうか。現在、民生委員なども減っているようで、なり手がいないとも聞くため、その辺の対策や今後どのようにやっていくのかが気になっている。</p> <p>もう1点、デマンドタクシーやコミュニティバスなどが栃尾や山古志地域等で始まっているが、私も含めこれから高齢者が増えていき運転ができなくなった時に、どう生活を維持していくか不安を感じているところ。今後どのように捉えていけばよいかをお聞きしたい。</p>
<p>福祉保健部長</p>	<p>ただ今のご意見は、福祉の域を超えた市全体としての課題だと受け止めている。ここにある計画は、福祉ということに着眼して事業を整理しているが、福祉だけではなく色々な部局に関わる課題については、当然全体の中で議論をし、適切な計画に記載をしているところである。</p> <p>地域力については、福祉の問題だけでなく、全市的に課題となっており、関係部局で、関係者の皆様と議論をしているところである。</p> <p>また、交通の問題も同じで、すぐにこの計画にこの内容ということはないが、頂いたご意見については、我々も認識しており関係部局との協議の中で大事な課題だと思っているため、しっかりと議論をしていきたい。</p>
<p>委員</p> <p>委員長</p>	<p>よろしくお願ひしたい。</p> <p>パブリックコメントも来週から始まるため、ご意見があれば、また出していただけたらと思う。</p> <p>議題としては以上となるが、全体をとおして何かあるか。</p>

委員	<p>新潟県の身体障害者団体連合会の会長も兼務しており、県の障害福祉会議に年に何回か出席している。県の動きを見てみると、先ほど福祉課長から話があった合理的配慮が令和6年4月から民間にも適用されることを受けてかどうかははっきりはしないが、県は「障害者差別解消のための条例」の制定に動き出している。新潟市は既に数年前から「障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を制定しており、三条市も制定、加茂市も制定に向けて動き出したと聞いている。県が動き出した中で、長岡市は今後どうするのか。国と県があれば、もう既に必要ないかという考えもある。</p> <p>私ども障害当事者団体も、今後どのように意見を出していけばよいかも考えているところだが、県の動きを踏まえた現時点での市の考えを聞きたい。</p>
福祉課長	<p>障害者差別解消については、今回皆様から議論いただいた本計画の中で、一番地的な位置づけで謳いこんである。まずは、この計画を基にしっかりと取り組む、また、実際の現場で障害者差別をいかに失くしていくかという実行力を高めていくことに注力したいと現状考えている。</p>
委員	<p>他が制定しているから長岡市もしなければならぬと考えているわけではない。やはり長岡市も必要があって作るということになるかとは思いますが、現時点では、市は制定の予定はないと理解した。</p>
委員長	<p>本協議会は本日で今年度4回目となり、計画策定年度としては最終となる。もし皆さんの中で、これまでの議論を踏まえた感想や普段の活動の紹介などがあれば情報交換会的なものになると思うがいかがか。</p>
委員	<p>県の事業で年に1回しかないが、発達障害者支援協議会がある。新潟県では、生まれてから成人までの発達障害者のアクションプランを策定しているが皆さんご存じか。令和5年度に改正した5年プランだが、皆さんには発達障害者について、国や県はこのように取り組んでいるということを、ホームページにも載っているため是非ご覧いただきたい。発達障害者は、色々</p>

委員	<p>と大変だと言われており、社会人になれば、ひきこもり等の色々な課題もある。県は、全国的にも珍しいことだが、教育と福祉の関係者が一堂に集まって同じテーブルで会議をしている。全員で25～26人の会議だが、医療、福祉、教育、そして、当事者団体で構成されている。是非アクションプランをご覧いただき、県の動きを知ってもらえるとありがたい。</p> <p>本計画でも大きな課題だと何度か話題に出た医療的ケア児の支援であるが、市の皆様、療育園の皆様、訪問看護や各種関係者の皆様からのご支援及び協働いただく中で、親御さんたちから情報共有をしたいという声が寄せられたこともあり、寒い時期ではあるが3月17日（日曜日）に、初めての情報交換会、親御さんたちの繋がりのを始めたいと考えている。ご希望の声があれば是非保健所へお声がけいただきたい。また、今後も皆様と協働して進めていきたいと思っているためよろしく願いしたい。</p>
委員	<p>私の大学のゼミや私も個人的だが、遊びを通じた親子交流会を行っている。具体的にはプラレール。ゼミ生で精神障害がある者が、すごく変化した。始めは立っているだけで何もしなかったが、何度かやるうちに親のところへ行きプラレールを教えており、案外社会性があがった。障害のある者も児も関係なく一緒に遊び、者の方はもしかしたらボランティアという形で対応できるかもしれない。社会福祉協議会のボランティアセンターに繋いでもらえば私に声がかかるため、もしよろしければ、お声がけいただきたい。</p>
委員	<p>長岡市内にはコミュニティセンターがあり、福祉担当の職員がいるため、何かあればそこに相談してある程度は解決されていると思っている。</p> <p>ある肢体障害者が、移動支援の関係で送迎サービスを希望し訪ねて行ったが、非常に冷たくあしらわれてしまう現実があった。まだ障害認定が確定せず、制度を利用できない人だったが、担当職員がもう少しネットワークを駆使してボランティアとマッチングさせるなど、制度を利用できない人を救っていき、寄り添った対応をいただけるとよいと思う。よろしくお願</p>

<p>委員</p>	<p>いしたい。</p> <p>私の娘が成人してから障害があることがわかった。成人するまで普通の子として育ててきたため非常に衝撃を受けた。それまでに何度か怪しいと思い、かかかりつけ医や周りの人に相談したが、その時は医者からはっきりと障害はないと言われたため、私の考え違いだったと思い過ごしてきた。その後、違う医者から、はっきりと障害があるとされた時は人生の中ですごく後悔した。もっと早い段階で障害がわかっていたら、違う子育てができたのではないか。今悩んでいる方には、私みたいに後悔してほしくない。こちらからは情報を受け取りにくく、子育てしている最中は、どんな支援があるかよくわからなかったため情報をとらえにくい社会なのではないかと思っている。是非、困っている方に情報を発信する長岡市であってほしい。</p>
<p>福祉保健部長</p>	<p>冒頭の挨拶の中で、今年度は色々な計画を策定しているという話をさせていただいたが、様々な会議の中で、テーマは少し違うが、やはり情報発信ということが非常に意見として出ている。情報の発信は本当に私たちが悩んでいることの一つであり、多くの情報を発信し過ぎてしまえば、そこは薄まってしまうし、また皆さんの関心を引き立てるような工夫がないとなかなか届かないというところもある。今回改めて、市民の皆さんに、どのように情報を発信するかが非常に大切なんだということに気づかせていただいた。これは、障害者施策に限らないことだが、他のジャンルにおいても、今一度、どうやったら情報が届くかということをしっかり考えていきたいと思っている。加えて、情報の口コミという皆さんの力も非常に強いため、知っていることがあれば、お話の機会にPRしていただきながら、詳しくはわからないけどあそこに聞けばいいらしいよということも非常に力になると思うため、引き続き皆さんのご協力もよろしくお願ひしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>話を聞いていて気がついたが、医療が福祉の入り口だということはよくわかる。本日は医師会の委員もおられるが、最初に障害が発見されるのは医療であるし、その医療の時点でどう福祉へアクセスされるかが、その後のアプローチに大切になると</p>

<p>委員</p>	<p>思っている。私は40歳前後で失明したが、最初の医療がもう少し丁寧だったらよかったのになという印象が今でもある。医療と福祉の繋がりや連携は大変大事な部分だと思うため、入り口である医療と福祉へのアクセスを重要視していただければと私も思う。</p> <p>障害、病気についてだが、障害の概念は月日とともに変わってきている。例えば、新型コロナウイルス感染症は謎の病気だったがウイルス性感染症だとわかったし、精神科の分野であれば、少し前は男性が男性を好きであることは異常者ということで治療対象になっていたが今はそんなことはない。</p> <p>逆に発達障害は、ここ10年から15年ぐらいに急速に発達した概念である。医者はそういった病気について日々アップデートはしているが、なかなか難しい部分もあるため、医師会としては、定期的に講演会や講習会を開いて日々研鑽に努めている。市民の皆様で何か不明な点やおかしいんではないかということがあれば、かかりつけ医に相談することが大事だと思う。</p> <p>ただ、医者にも専門がある。例えば、内科でも糖尿病専門があったり、私も認知症が専門のため小児の精神発達については全くわからず相談されても難しい。やはり医者との付き合いが大切となるが、難しいようなら医師会に気軽に相談いただければ適切な先生を紹介することもできるため、よろしく願いたい。</p>
<p>委員</p>	<p>ろうあ者は、健常者と比べ情報を得ることがやはり少ない。ろうあの先輩からは、「昔は何も聞こえないから情報を得ることが難しかった。今はスマホやテレビに字幕等が入りよくなったが、昔はなかったため自分で色々な場所へ行って情報を得る必要があり苦労した。」ということを知っている。</p> <p>今も便利にはなったが、まだまだ足りない面も多くあると感じている。例えば駅で、ここで事故が起きたや電車が止まったなどトラブルが起きていることがわからないままの事がどうしてもある。無人駅などもあるが、その場合は誰も人がおらず、ろうあ者は何も情報を得ることができず困る。また、両親が聞こえず、子どもが健常者の場合は、意思疎通の面で大変なことがあり、学校の先生に相談したりコミュニケーションの面で苦</p>

福祉課長	<p>労もする。</p> <p>また、新発田市や新潟県を始め手話の普及に関する条例の制定も多くあり、手話が広がっていくといいなと感じている。現在、長岡市に条例はないが、市民の方に手話について興味を持ってもらえることが増えてきており、条例が制定されれば、もっと広がるのではないかと感じている。</p> <p>もう1点ある。2025年11月から東京でデフリンピック、耳の聴こえない方のオリンピックが開かれる。聴覚障害者の大会で世界中から東京に集まってくる。デフリンピックはパラリンピックよりも歴史が古いが、なかなか認知されていない。長岡市でもデフリンピック代表候補者が3名いる。是非、その方たちを長岡で応援して送り出してほしい。</p> <p>条例については今後の検討とはなるが、デフリンピックに出場される選手に対しては、既にある制度で助成金を支払っているため、そのようなところで市としてもできるだけバックアップしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>言わないでもいいかとも思ったが、パブリックコメントの実施について。今回は提出意見がなしとの報告があったが、1月に配布された市政だよりで記載部分を探した。そこには「パブリックコメント」という言葉がなかった。それが直接の原因とまでは思わないが、やはり届きづらい状況にあったのではないかと感じるため、そのような文言の記載の仕方についても考えていただくとよいのかなと感じた。</p>
福祉課長	<p>情報の出し方については、市としても工夫していきたいと思っている。</p>
委員	<p>意見ではないが少し感想をお話する。今回の最終案をみて、長岡市として全体で取り組んでいくんだなと感じ、すごく身が引き締まる思いがしている。また地域福祉計画でも、相談体制が基本方針の一番上にきており、私が相談支援事業所の管理者もしているため、事業所に持ち帰って、またみんなで頑張ろうと伝えていきたいと思う。</p> <p>また、地域生活支援拠点のコーディネーターの役割や、施設</p>

